

## 電子版英文ジャーナルの執筆細則

### 1. フォーマットと注意事項

原稿のページ設定は次の通りである。

- ① 余白：上 30mm、下 25mm、左右 22mm
- ② 文字数と行数：46 文字 x 40 行
- ③ 書体：Century
- ④ フォント：タイトル（16 ポイント）、著者名（12 ポイント、太字）、所属（12 ポイント、斜体）、Abstract（11 ポイント、250 語程度）、キーワード（11 ポイント、太字、5 語程度）、本文（11 ポイント、6,500 語程度、左右 2 段組み）
- ⑤ 図（Figure）と表（Table）は、文中のしかるべきところに挿入するものとし、それぞれ通し番号を付ける。図のタイトルは図の下部に、表のタイトルは表の上部に示す。出典は図・表の下部に示す。
- ⑥ 注は脚注とし、通し番号を付ける。文献の引用箇所の表記は、簡易法（著者姓、出版年、頁）を示す。例：(Kazama, 2001, p.23) なお本文中に文献を引用する場合もこれに準ずる。
- ⑦ 引用文献は、アルファベット順（ファーストネーム、セカンドネームの順）にまとめる。
- ⑧ トータルページは、15 ページ程度が望ましい。
- ⑨ 英文の記述に留意し、英語を母国語とする人の校閲を経ることが望ましい。

### 2. 項目の区分

大項目 (1) (2) (3) ...

中項目 1、2、3 ...

小項目 1.1、1.2、... 2.1、2.2 ...

### 3. 文献の引用

#### (1) 表記

原著が日本語の場合、下記の通りとする。

##### ① 邦文単行本（英訳なし）

例：Kagono, Tadao (2010) . *Keiei no Seishin* (The Spirits of Management) . Tokyo: Japan Productivity Center.

日本語タイトルは、ローマ字表記として、（ ）内に、英語訳を付けることが望ましい。

##### ② 邦文単行本（英訳あり）

英訳本を英文単行本に準じ、邦文原著のタイトルを（ ）内に表記する。

原著が欧文の場合は、下記の通りとする。

##### ① 英文単行本（邦訳なし）

著者名（発行年）． 書名【イタリック】． 版次(初版は表記しない。第二版から表記)， 出版地：出版社。

例：Csikszentmihalyi, Mihaly (1996). *Creativity*. New York: Harper Perennial.

##### ② 英文単行本（邦訳あり）

著者名（発行年）． 書名【イタリック】 版次、出版地：出版社．（訳者名『訳書名』出版社、発行年）

例：Christensen, Clayton M. (1997). *The Innovator's Dilemma: When New Technologies Cause Great Firms to Fail*. Boston: Harvard Business School Press. (玉田俊平田監修/伊豆原弓訳『増補改訂版 イノベーションのジレンマ』翔泳社、2001)

③ 編著

編著者名 (Ed.) (発行年) . 書名【イタリック】 (版次) , 出版地 : 出版社.

例 : Bygrave, William D. (Ed.) (1997). *The Portable MBA in Entrepreneurship*. (Second edition), New York: John Wiley & Sons, Inc.

④ 編著に収録された論文

筆者名 (発行年) . 論文名. In 編者名, 書名【イタリック】 , 掲載頁. 出版地 : 出版社.

例 : Xu, Fangqi. (2013). The Formation and Development of Ikujiro Nonaka's Knowledge Creation Theory. In Krogn, G. von., Takeuchi, H., Kase, K., and Cantón, C. G., (Eds.) *Towards Organizational Knowledge: The Pioneering Work of Ikujiro Nonaka*, pp.60-73. Hampshire: Palgrave Macmillan.

⑤ 雑誌に掲載された論文

筆者名 (発行年) 論文名. 雑誌名【イタリック】 , 巻 (必要な場合は号) , 掲載頁.

例 : Mintzberg, Henry. (1996). Managing Government, Governing Management. *Harvard Business Review*, 74(3), pp.75-83.

(2) 同一著者の文献が複数ある場合

発表年順として、以降著者名を繰り返さずに「-」を用いる。

同一著者の同一発表年の文献には出版年の後に a、b、c などの添字をつける。